

2021年(令和3年)3月6日(土曜日)

密を防ぐけん玉年長児ら熱中



けん玉遊びを楽しむ園児たち。恵那市大井町のすめっこ杉の子幼稚園で

玉に比べ、手で持つ部分の剣と糸の長さを短くし、玉と皿の双方を大きくするなど、園児が扱いやすい仕様にした。

「園児が手づくりの楽しさを感じ、愛着を持てるように」と、剣や玉、両端に大小の皿がある部分の皿胴など、五つのパーツで構成する組み立て式になっている。子どもたちは、水性絵の具で絵や柄を描き、表面にニス塗って仕上げた。

休み時間になると、各自のけん玉を持ち寄って練習するなど、反応は上々。岩山史翔ちゃんは「真ん中の剣に玉が刺さるとうれしい」、今井理人ちゃんは「ゲームより楽しい」と声を弾ませ、古山いづみちゃんは「もっと上手にできるよう練習したい」も前向きだ。

園は新年度以降、大会の開催や検定制度の導入を検討していく方針。恵峰学園の馬淵賢司統括主任は「技

の上達を通じて得られる達成感や満足感は、子どもたちにとって貴重な成功体験になるはず」と期待する。

恵那市大井町のすめっこ杉の子幼稚園で、園児らがけん玉遊びに熱中している。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い園の活動が制限される中、子どもたちの運動不足やストレスの解消につながり、密接を防ぐ遊びとして着目し、年長児向けに導入した。(長谷部正)

恵那・すめっこ杉の子幼稚園

運営母体の学校法人恵峰

学園を含むマルヤマグループ

の中核企業の丸山木材工業(中津川市)と連携し、地

元産のヒノキ材を用いたけん玉を開発。一般的なけん

地元産ヒノキ材、組み立て式